

米の生産調整と
産地づくり交付金

吉川 実議員
(自民・無所属議員団／伊賀市選出)

問

転作助成金に替わる産地づくり交付金は、県の水田農業推進協議会から、各市町の協議会を通じ、農家に支払われています。生産調整の目標が達成できない場合には返還が生じますが、一生涯目標を上回って達成している地域には、目標の分の交付金しか交付されません。

未達成の地域の返還金を、目標を上回って達成している地域に交付してはいいのでしょうか。



転作による大豆の生産

答

交付金は、県の水田農業推進協議会において、市町の協議会の意見もふまえ、過去の生産調整の実績に基づき配分され、3年間の交付額が固定されています。

年々拡大する生産調整を達成するため、限られた交付金を3年間で計画的に活用することが必要であり、剰余金を他の協議会に融通することは困難です。

その他の質問事項
○川上ダム工事促進 ほか

多文化を共に生きる
三重を目指して

田中 博議員
(新政みえ／鈴鹿市選出)

問

日本語の話せない外国人の児童生徒が増加しており、今後もさらに増加する見込みです。特別なカリキュラムなどに対応するため、教員や常勤講師の増員、非常勤講師の常勤への変更が必要ではないでしょうか。

また、保護者との連絡調整などの時にも、言葉の壁があることから、教員採用時の外国語が話せる人材への特別措置を、拡大してはいいのでしょうか。

答

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する学校を中心に、常勤講師や非常勤講師を配置しています。限られた財源の有効活用のため、非常勤講師も必要であり、引き続き確保に努めます。

また、教員採用選考時の受験者への得点の加算制度に、英語やポルトガル語に加え、スペイン語も対象としました。

その他の質問事項
○来年度予算編成に関してほか



農業はビジネスか？

竹上 真人議員
(自民・無所属議員団／松阪市選出)

問

次世代を支える担い手の確保や、生産・経営支援機能の充実などの事業は、すでに税源移譲され、県独自で行うことが可能となっています。しかし、農業支援のための予算は大幅に減額され、農業に冷たいと感じます。

農業の本質的な問題である後継者対策として、一番重要な担い手や農地の集約化などを、重点事業に位置付けるべきです。いかがですか。



小麦の収穫

答

農山漁村再生への支援は重点事業として取り組んでいますが、目標を達成するためにも、地域の核となる農業の振興を図ることが重要であると考えます。

このため、今後の農業のあるべき方向をしっかりと見据える中で、担い手育成や集落営農の推進などの取り組みを、重点事業に位置付けることを検討しています。

その他の質問事項
○守ろう！三重の木

「美し国おこし・三重」
三重県基本計画

笹井 健司議員
(新政みえ／松阪市選出)

問

「美し国おこし・三重」の基本理念において示されている「絆」は、今、県民が求めているものではないでしょうか。

その中で、主役である市町との連携を密にし、人と人とのふれあいや対話の機会を持つため、例えば清掃作業を基にした「県民総参加の日」を定めてはいいかがですか。新たな人との心のふれあいや、幅広い地域づくりを見出すことができると思います。

答

「美し国おこし・三重」では、住民の皆さんに座談会に参加していただき、「絆」を深める取り組みや地域資源を掘り起こす取り組みなどを展開し、地域の魅力や活力を高めていきます。

自発的な活動が「テーマに基づき全県的に取り組む美し国おこし」として、その気運が高まれば、「県民総参加の日」も一つの方法だと思っています。



その他の質問事項
○新県立博物館建設 ほか